



石や枝を使ってライブドローイングを披露する鈴木さん

アーティストの鈴木ヒラクと話した。

さん(45)の県内初となる個展

「今日の発掘」が16日、

高崎市の県立近代美術館で始まった。鈴木さんが

展示室内で作品を描く

「ライブドローイング」

が披露され、訪れた多くの来場者が見入った。

線を描く「ドローイン

グ」をテーマに活動して

いる鈴木さんが、墨汁を

付けた石や枝を使い、さ

まざまな線を表現した。

完成後に「自分の描いた

線に驚きたい。石、枝、空間との対話で線を見つけたい」

・5560)へ。(長部遥)

来場者前で「線」表現

鈴木ヒラクさん近美で個展

個展では、絵画やインスタ

レーションなどの新作

を含む73点を展示して

いる。12月19日まで。

午前9時半～午後5

時。観覧料は一般30

0円など。

企画展「創作におい

て自由なる競創

19、20世紀の芸術家と

ポスター」も11月12日

まで開いている。一般

800円など。

休館日など問い合わせ

せは同館(☎027・346

ドラさん(16)が1位。13歳までの部門で、いずれもアデス・スペイン語アカデミー(伊勢

長は「出場者のスピーチに頼もしさを感じた。次世代に友好の思

(斉藤弘伸)

講演



の

の前橋空襲では、53

の犠牲者が出た。

た。

小野沢会

アによるウ

攻や台湾有

情勢が不安

いる。子ど

争のない平

を送れるよ

こう」と呼

同会は2

発足。2カ

地域の歴史

た。コロナ

3年ぶりに

リフォ

課題をこ

き

前橋

県住宅協

鶴光路町)

合住宅展示

聞e住まい

喬みなみ

文化

「伝統的な書道も大切だが、多種多様な文化であっていいのではないか。ルーツがあるからこそできる、自由な領域があってもいい」

5年ほど前、統合失調症の治療のために通っていた病院のデイケアプログラムで、書道に出合った。次第に書の楽しさを広めたいと思うようになり、ほとんど無自覚に「無限自在流」と名乗り、本格的に書家として活動するようになった。

書家 武藤 真仁さん(35)

旬の人

本県で初めて個展を開いている鈴木さんと新作「隕石が書く」



幼少期から考古学への関心が高かったという鈴木さんは「発掘」を印象に、「発掘少年」だった幼い頃からよく知る、日本で初めて旧石器時代の存在を示した岩宿遺跡(みどり市)をテーマに同館で制作した新作だ。

同館近くにある観音山古墳もモチーフになった。大きく描かれた鍵穴のような壁面と、ワイヤで空中に連ねた溶岩石を組み合わせたインスタレーションは、展示室の空間を生かして現地制作されるのは、壁面に取り付

遺跡からアート「発掘」 ドローイングなど73点

県立近代美術館で
鈴木ヒラクさん個展

線を描く「ドローイング」を探究する芸術家、鈴木ヒラクさん(45)＝神奈川県＝の県内初となる個展「今日の発掘」が12月19日まで、高崎市の県立近代美術館で開かれている。本県の遺跡や古墳から着想を得て手がけたインスタレーションなど新作を含む73点を紹介している。

(長部 遥)



軌跡を描き出したという。

新作の他に、架空の星座をテーマにした近年の作品「Constellation」シリーズなども並ぶ。鈴木さんは「無数の線がここにある。宇宙のような展示室を行き来して、それぞれの線を見つけて楽しんでほしい」と話す。

午前9時半～午後5時(入館は同4時半)。
観覧料は一般300円など。休館日など問い合わせは同館(☎027-3465560)へ。

絵や陶器 前橋でも展示 白井屋ホテル

鈴木ヒラクさんの個展と連動した企画が、前橋市の白井屋ホテルで行われている。県立近代美術館の会場に並ぶ絵画「隕石が書く」シリーズから1点、陶器作品2点をラウンジで紹介しており、ホテル利用者が鑑賞できる。展示場所は鈴木さんが自ら決めたという。12月19日まで。

プライベートギャラリーのような空間に宿泊でき、作品購入が可能な「鈴木ヒラクルーム」も12月25日まで設ける。鈴木さんの作品7点が展示され、動画作品を見



白井屋ホテルのラウンジの柱などに展示されている鈴木さんの作品

メジャーデビュー25を迎えた本県出身のバンド「BUCK-TICK(バクチック)」が9月18の西日、高崎市の群衆センターでライブを行った。ニューアルバム「IZORA」を引っ提げたホールツアーの公演。故郷で記念すべきの年を祝った。

メンバーが順に登壇と、会場は大きな歓声手に包まれた。センタボーカルの桜井敦司が白い衣装でそろそろ40器陣とは対照的に、ナをあらわにした黒い衣装を見せた。

戦争や不穏な世界観を映し出す同アルバム5人はスクリーンの映共、次々と収録曲をかけ、世界観を表現した。

メジャー35周年 BUCK-TICK



地元・高崎でラ
新曲と映

楽しさと感動共有を

「ゲン」のワークキングだった。スタッフの厚意で、スペースを利用。吉沢さんとともに知り合



9月まで netsugen に飾られていた作品と武藤さん

「ゲン」のワークキングだった。スタッフの厚意で、スペースを利用。吉沢さんとともに知り合

8月は地元自治会長の取り計らいで、同町の下野田集会所で個展を開催。これまで制作

した120点ほどを並べた。夏祭りの案内看板を書くなど、地元とのつながりも大切にしている。9月からは同集会所で、書の楽しさを伝える書道教室も始めた。

「人との縁を頂いて、とても恵まれているとよく言われる。人とのつながりの中で感動を共有したい」

(赤尾 颯太)

鑑賞 ス
劇団は
記念
◆劇団
ター結成
「父を悩
たち」(21
ンテマル
198
前橋市を
アマチュ
作家によ
本で在
自主公演
記念公
た過疎の
住した書
がき苦
りの人々
くとい